

研究課題【京都大学血液・腫瘍内科の造血幹細胞移植データを用いた移植成績の解析】に関する患者さんへのお知らせ

京都大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科では、京都大学血液・腫瘍内科において自家・同種造血幹細胞移植が行われた症例を対象に、各疾患や各移植ソースを用いた移植成績の解析および予後予測因子同定に関する研究を計画しています。

造血幹細胞移植は難治性造血器腫瘍の根治療法として確立した治療法です。しかし、移植方法の改良により、移植ソースは、HLA 適合同胞（骨髄・末梢血幹細胞）のみならず、HLA 不適合血縁、HLA 適合・不適合の非血縁骨髄・末梢血幹細胞・臍帯血にまで拡大しています。また 60 歳上の高齢者にも移植適応は拡大しています。最も合併症の頻度が低いとされる HLA 適合同胞からの寛解期移植においても移植関連死亡率は 10%-15%と決して低くはありません。他の移植ソースを用いた移植や高齢者に対する移植においては、移植関連死亡率は 15%-40%程度まで上昇します。そのため予後予測因子の解析等、移植成績を改善させるための継続的な研究が必要です。そのため、京都大学血液・腫瘍内科での移植症例の解析を行うことを計画しています。

情報収集する項目としては、年齢、性別、原疾患、治療内容、治療効果、各種検査結果、合併症の有無、移植前後の臨床経過が挙げられます。すでに診療において実施された内容であり、また日本造血細胞移植学会に報告されている情報や診療録を用いるため、追加の検査はありません。患者さんから得られた検体（血液や細胞）そのものを用いた研究は含まれません。研究成果は学会、論文にて公表を行います。データは匿名化され、個人情報保護されます。研究計画書および研究の方法に関する資料をご希望の場合は、研究責任者にご連絡頂ければ、他の研究対象患者さんの個人情報及び、本研究に関する知的財産の保護等に支障がない範囲内で、公表致します。情報を本研究のために使用されたくない方は、あらかじめご連絡いただければ解析対象から除外いたします。このような場合でも、治療において不利益を被ることはございません。ただし、既にどなたの情報かわからないように匿名化されていて除外不可能な場合には、ご希望に添えないこともあります。本研究は、倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けています。研究期間は、倫理審査承認日から 5 年間です。

研究の主たる責任者および連絡先は、京都大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科 近藤忠一、電話番号 075-751-3152 です。また病院にも連絡窓口を設けております。連絡先は、京都大学医学部附属病院 総務課 研究推進掛 075-751-4899 trans@kuhp.kyoto-u.ac.jp です。